

佐賀県白石町 部活動地域展開重点事業

1. 現状と課題

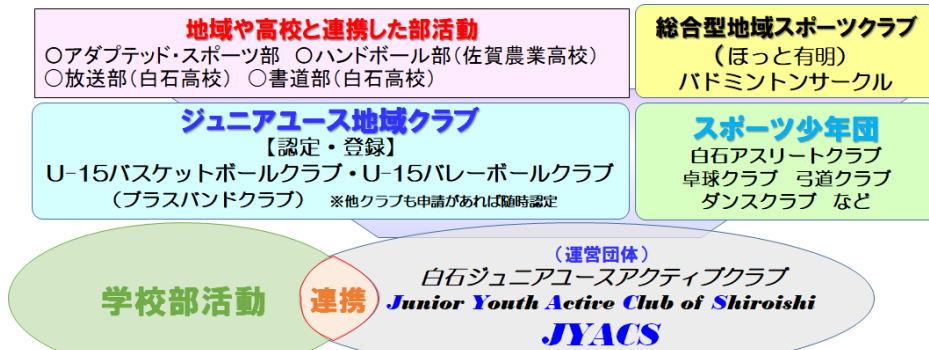
当町では、令和6年4月に町内の3中学校を1つに統合再編し、(新)白石中学校が開校した。生徒数は令和7年度5月時点で548名と標準規模ではあるが、少子高齢化が進行しており、今後数年での急激な生徒数の減少が見込まれている。

運動部活動数は(新)白石中学校開校時に9種目13部を開設し、令和7年度は272名が在籍し活動している。さらに、町内高等学校や総合型地域スポーツクラブと連携することで、生徒は多様な選択肢の中で希望する活動に親しんでいる。

2. 推進体制

運営団体として、「白石ジュニアユースアクティブクラブ」を設立。令和8年度に部活動の受け皿となる認定地域クラブの加盟を行い、令和8年夏の中体連以降、休日部活動の完全地域展開を目指す。

将来的には、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団など一元的な組織体制を整備し、生徒の多様なニーズに対応するとともに、多年代のスポーツ・文化芸術活動環境の充実を目指す。



3. 事業内容

○スマートキーボックス等の導入による活動の効率化

認定地域クラブの活動場所となる学校施設等について、予約システムと連動したスマートキーボックス等を設置することで、教員や指導者、保護者の負担軽減と効率化につなげる。

○地域クラブ活動に要する活動備品の整備

地域クラブにおいて使用する活動用具を専用で整備し、倉庫等で一括して管理することで、管理・責任の所在を明確にし、柔軟な活動体制の構築につなげる。

○熱中症対策備品の整備

スポットクーラー等の熱中症対策備品を整備し、生徒の安全な活動につなげる。

白石ジュニアユースアクティブクラブ 今後のスケジュール

年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
フェーズ	★休日部活動の地域展開 (中体連後～)	★JYACSでの運営を本格化 (保険加入・会費徴収) ★JYACS 法人化	他団体との連携体制構築 (一元化)	平日部活動の地域展開の方向性検討 総合型クラブ・スポーツ少年団組織再編 方向性の決定	多目的・多志向の活動の場を多世代へ提供 平日部活動の地域展開の方向性決定	
概要	休日部活動 地域展開 部活動及び地域クラブ活動地域展開支援 ・地域クラブ認定制度の確立、運用 ・指導者の確保 ・会費の設定	ジュニアユースアクティブクラブ設立総会	ジュニアユーススポーツ総合型クラブ・スポーツ少年団組織再編 検討	平日部活動・地域クラブ 地域展開	〈新白石小学校開校〉	
施策	・施設利用調整、使用料精査 地域おこし協力隊任用			実践研究 進捗状況評価 施策への反映		

